

## 2031年(創立100周年)に向けて社会変革に貢献する世界屈指のイノベティブな大学へ

### 戦略① 新学術領域の開拓による世界的研究拠点の形成

【新たな世界トップレベルの研究拠点を形成】

- 量子情報・量子生命研究センター

【自立的・持続的な産学官共創拠点を形成】

- 共創の場形成支援プログラム **4拠点採択 全国1位**

【困難な社会課題の解決を目指した挑戦的研究開発の推進】

- ムーンショット型研究開発事業 **PD1名輩出 4件採択**
- 先導的学際研究機構 **12領域→17領域**に

### 戦略② 共創イノベーションによる「知」と「人材」と「資金」の好循環システムの構築

- 大学・エコシステム推進型スタートアップ・エコシステム形成支援 **採択**  
関西圏におけるスタートアップ連携ネットワークの基盤構築

【産学融合拠点の整備によるオープンイノベーションの推進】

- アルファ線核医学治療社会実装拠点 **採択**
- 全国発明表彰 未来創造発明奨励賞 **4年連続受賞**  
2019年度21世紀発明奨励賞、2020年度未来創造発明賞
- センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム **S+評価獲得**

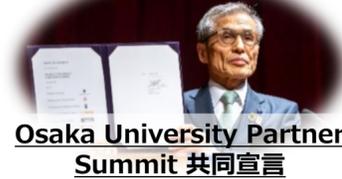
### 戦略③ 共創イノベーションを担う優れた人材の育成・獲得

【入学前-卒業後の学生・教育データを活用した教育効果の可視化】

- スチューデント・ライフサイクルサポート(SLICS)センターの設置 (2022年4月)
  - 卓越大学院プログラム **中間評価S評価獲得**  
(生命医科学の社会実装を推進する卓越人材の涵養)
- 【ダイバーシティ&インクルージョン】
- ダイバーシティ&インクルージョン(D&I)宣言の公表
  - 自然科学系分野女子学生ネットワークasiamの発足・次世代のすそ野拡大への取組
- 【本学の教育改革の成果が高く評価】
- THE世界大学ランキング日本版 **国内3位**に上昇  
(大学の教育力を中心に評価するランキング)

### 基盤強化① 国際協働ネットワークの基盤強化

- インドネシア共和国大使館との協力関係の強化に関する覚書 **締結**
- 海外大学との戦略的パートナーシップ(グローバルナレッジパートナー)の拡大
- 箕面新キャンパス完成(OUグローバルキャンパス)
- グローバルビレッジ箕面船場(混住型学寮)供用開始
- Osaka University Partner Summit  
世界有力6大学との間でビジョンを共有し、連携に関する共同宣言を発表。2025年大阪・関西万博に合わせて成果発表を予定



【コロナ禍を契機として実施した国際学生交流の取組】

- 海外の協定校とのバーチャル留学  
海外大学学生の履修申請者数：67名  
本学学生の履修申請者数：37名
- オンラインでの学生交流プログラム  
海外大学学生の単位修得者数：846名  
本学学生の参加者数：163名

### キャンパスのZEB化推進

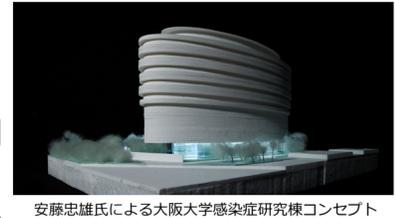
国立大学初の新築ZEB Ready研究棟  
(薬学研究科・薬学4号館)

2021年10月認証取得

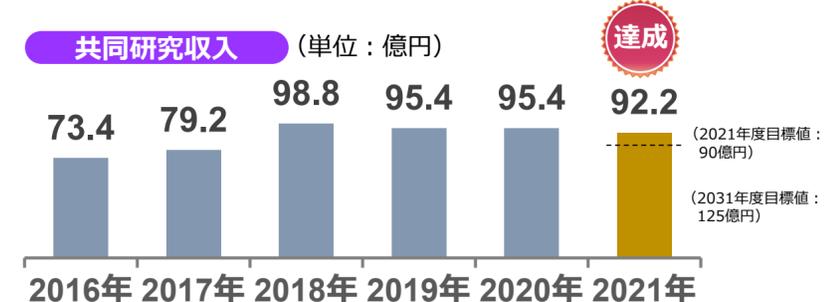
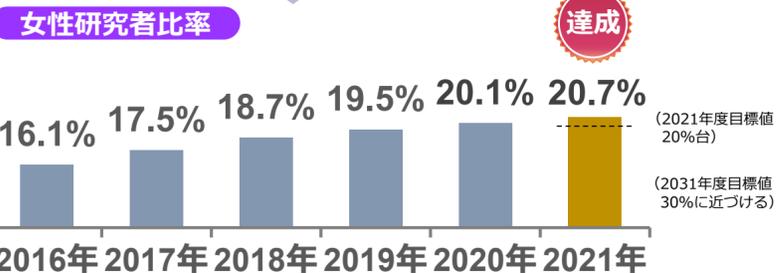
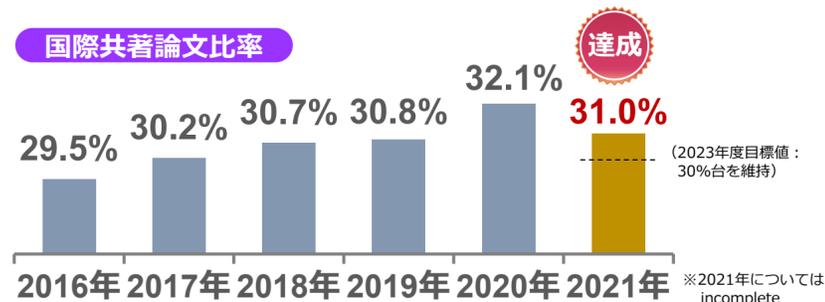


### 基盤強化② ガバナンス改革・財務基盤強化

- 感染症総合教育研究拠点  
日本財団より**10年 230億円**の助成を計画  
「日本財団・大阪大学感染症対策プロジェクト」による研究棟整備計画に着手
- 大学院 人文学研究科 **設置** (2022年4月)  
人文学の総合的・国際的な教育研究を行う研究科を統合再編
- 大阪大学未来基金の受入累計額 **約118億円** (当初目標額90億円)
- 大学債(大阪大学 生きがいを育む社会創造債) **300億円**発行  
サステナビリティボンドとしては**国内大学初** (2022年4月)



### 取組の主要KPI



### 新型コロナウイルスに対する取組

- 大阪大学活動基準を設定
- ブレンデッド教育の実施
- 大学拠点接種(職域接種)の実施  
▶ 本学関係者約2.4万人、周辺自治体の教育関係者等約8,800人に2回接種完了(3回目接種も実施)



### OUマスタープラン2027策定

OUマスタープラン2027は、教育・研究・経営のそれぞれで貫徹される方針である縦軸の戦略と、情報基盤整備、Diversity & Inclusionなど教育・研究・経営を横断的に支える事項で通底する方針である横軸の戦略を折り合わせることで、今までの国立大学にない網羅性と柔軟性を合わせ持つ中長期的経営計画である

### 生きがいを育む社会を創造 「社会貢献」から「社会創造」する大学へ

個々人が社会で活躍できる寿命(社会寿命)を延伸させ、あらゆる世代がその多様性を生かすことで社会を支え、豊かで幸福な人生をすべての人が享受できる社会を創造する『真のオピニオンリーダー』になることを目指す